

O JAPAN

ORIENTEERING JAPAN

'92/9

1992年〔平成4年〕9月10日発行

(毎月1回10日発行)

第9巻第9号通巻第110号

昭和63年6月24日第三種郵便物認可

シンキングスポーツ・オリエンテーリング



植物性

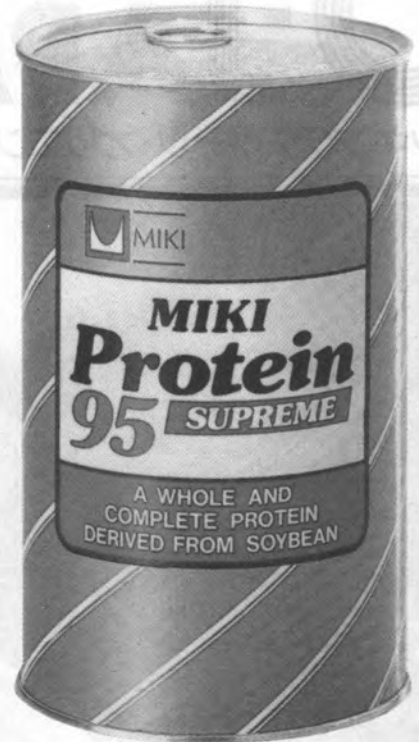
- 持久力・体力……健康の維持
- ノンコレステロールです

プロテイン95

- 皮膚・毛・目・爪・筋肉組織・分泌腺・血・
- ホルモン等すべてプロテインで出来ている

レシチン

- 脳神経系統内分泌腺及び心筋成分
- コレステロール分解



● お問合わせは O・J・A・P・A・N 編集部まで

オリエンターリング地図印刷

社内報 団体・サークルの機関紙 記念誌
PR誌 学校新聞 句集 歌集 詩集

あしび印刷 有限会社

〒220 横浜市西区西戸部町3-298
神奈川県教育会館前
☎045-231-5970 (代)

ORIENTEERING JAPAN
 **JAPAN** もくじ
 92/9月号・No.110

- 『吹くか、スウェーデンの強風』
=ワールドカップ92中間集計=4-5
- I O F 総会報告5
- ユニバーシアード92 in SCOTLAND
桐田 幸宏, 岩出 雅人6-8
- ブロック連絡協のページ
=中国・四国・九州ブロック連絡会.....9
- =イベント・レポート=
「第12回コンタズ練習会」
「真夏の大会! 8月9日宮島で開催」
「東海地区連絡協議会合宿」
「第7回 OLC吉備路2日間O」
岡本 忠佳, 三好 正夫
小野 盛光, 財間 定義 ...10-11
- 『FAXエントリー実用化へ』 ...12-15
- クラブ購読(登録)一覧 9.10現在...16-17
- =パーマメントコースりぼ〜と=
窪田 宏明, 松尾 一郎 ...18-19
- “情報あれこれ” “編集部より”20

□

「今月の表紙」この夏、スコットランド
=GBR=で行われた、ユニバ
ーシアード92。個人戦ゴ
ール前を力走する菊地正昭
選手(東北大)。

※「今月の地図」「こどものためのオリエンテ
ーリングはスペースの関係で休ませていただ
きます。

ストリーマー
WOC開催は何年先?

先月、国際大会開催を数多く企画せねばと書いた。今月に入って、このアジア太平洋地域の今やリーダー格となっているオーストラリアのO機関紙 "THE AUSTRALIAN ORIENTEER" 8月号が届いた。そこには、この7月に行われたI O F 総会の報告が、同国代表(I O F への)の評議員ヒュー・キャメロン氏によってされていた。その席で彼は、ここ10年近いI O F への貢献により、同じく国際的に名を知られているイギリスのスー・ハーヴェイ女史(前I O F 事務局長、1986年香港でのA P O C の帰途日本に立ち寄る)や、スウェーデンの功績者ヤコブソン氏と共に、副会長に選ばれた。北欧、中央ヨーロッパ、いわゆるオーバーシー(しかもアジアに近い南半球)とフランスの良い指導部体勢ができたようである。そこでは今世紀中のビッグな国際大会の開催国がほぼ決まり、そしてオーストラリアが2001年の世界選手権開催を早くも立候補した。この大会は、昨年チェコでの世界選手権の時にI O F 会長以下の首脳陣から“日本はどうか?”といわれていたもので(本誌 91/9 のこの稿参照)、多分いまでも彼らは日本=初のアジア開催に期待しているだろう。おそらくキャメロン氏も痺れをきらして、A P O C 地域を代表しての開催という意味で 'WOC '01 = オーストラリア' の意志表示に踏み切ったのであろう。そういうことであれば、今からでも遅くない。先月やはり、この稿の最後を世論はいかに、で結んだ。お陰様で本誌も多くのおリエンテリング推進のリーダーの方々に読んでいただいている。が、何のご意見も聞かれない。ということは、80年代後半に熟しかけた「世界選手権開催」への機運はしぼんでしまったようだ。このストリーマーを書くのに、新聞・雑誌・小さな広告パンフレットに至るまで目を通して題材を探す。TV・ラジオはもちろんである。TVからこんな冗談が聞こえてきた。「生きているうちにタイガースの優勝があるとは思わなかった」という60才ぐらいの人からの話を、あるタレントが笑い話にしていた。ワールドカップはともかく世界選手権に関しては、私の思いは今これに当てはまる。ワールドカップと言えば、北米の最終レースに村越選手が出場する。当然、同じ地域での来年の世界選手権を含みながらの参加である。A P O C 開催運営を立派にやってのけた彼である。積極的な国際外交を期待したい。

流人

吹くか、スウェーデンの強風?

国際的オリエンティアの一人で、'ヤコブ'ことオッド・M・ヤコブソンはワールドカップ・オリエンテーリングの心の父である。1983年に彼と他の2~3のノルウェー人たちがワールドカップ開催の働きかけを提案した。そして今日誰もが知っているように、彼らの提案は完全に受け入れられたのである。

今、ヤコブは1992年度ワールドカップのうち既に行われた6大会についてのかいつまんだ概要と、10月にカナダ

とアメリカで行われる大会の結果、総合優勝の可能性をもつ者についての推測を書いてくれた。

(ヤコブは1981~1985年のノルウェー・ナショナルスコードのマネージャーを務め、さらに1986~1991年はデンマーク・ナショナルチームのコーチであった。現在彼は旅行代理店を経営し、業務多忙の中、多くのオリエンティアをワールドカップ大会に参加させている。)

今年のこれまでのワールドカップ大会では、ワールドカップ史上例の無い、11人を数えるそれぞれ異なった優勝者を生んだ。カナダとアメリカの最後の2大会を前に、息をひそめるほどのサスペンスがある。北米の森では、ということではスカンジナビアにより似たテラインでは、詳細な地図読みに優れたオリエンティアが有利であろう。中央ヨーロッパの

ランナーたちにとっては、おそらく最終的に高得点を得ることが少々難しいとわかるであろう。

理論的には、ほんの少数のランナーが最後の勝利者になるのだが、中央ヨーロッパの3つのとてつもないタフなレースの後では、まるでスウェーデンの強風が1992年ワールドカップを吹き荒れるかのように思われる。

女子クラスではスウェーデンのマリータ・スコグムが完全にリードし、続くイヴェット・ハーグ(英国)、アンネット・ニルソン(スウェーデン)さらにヤナ・シェスラローバ(チェコ)たちは最高の質の走りをしなければならぬ。いずれにしても言わば本命としてのマリータはチャンスをつかむのに最短距離にいると言うべきである。追う者たちが落伍すれば、この1989年の世界選手権者がまたタイトルをつかむのである。

スウェーデンのヨアキム・インゲルソンが男子クラスをこれまではリードしているが、同国のマルティン・ヨハンソンやフィンランドのキーヨ・バルキネンの二人にも勝利への大きな可能性がある。しかしトップに到達するためにはベスト3~4以上でゴールしなければならない。

ノルウェーのビヨナル・ヴァルスタードとホバード・ツヴェイテはこれまでの2つの不成功に終わったレースをそれぞれ帳消しにすることができるし、かれらもまた勝利の可能性をもつ者として数えなければならない。ロシアのウラジミール・アレクセーエフは6大会後4位に

ワールドカップ 6レース終了時点の得点累計

=女子=

順位	選手名	国名	開催国						計
			SWE	FIN	RUS	HUN	AUT	ITA	
1	Marita Skogum	SWE	31	40	27	40	37	33	181
2	Yvette Hague	GBR	40	26	25	37	33	27	163
3	Anette Nilsson	SWE	37	29	30	30	29	37	163
4	Jana Ciestarova	TCH	20	35	40	33	30	24	162
5	Annika Zell	SWE	22	37	37	31	24	-	151
6	R B Andersen	NOR	27	25	33	35	22	29	149
7	Eija Koskivaara	FIN	35	28	23	18	24	31	141
8	Anna Bogren	SWE	33	15	19	27	31	20	130
9	Hanne Sandstad	NOR	16	19	-	25	15	40	115
10	Marcela Kubatkova	TCH	17	-	21	19	28	30	115
11	Annika Viilo	FIN	5	31	24	29	0	17	106
12	Mari Lukkarinen	FIN	13	33	31	0	20	-	97
13	Sabrine Fässeler	SUI	29	6	0	26	25	11	97
14	Ulrika Örnhagen	DEN	18	17	-	0	26	35	96
15	Brigitte Wolf	SUI	21	13	13	23	12	26	96
16	Torunn Fosslie	NOR	25	27	22	13	2	-	89
17	Gunilla Svärd	SWE	-	-	-	22	40	22	84
18	Kirsi Tira	FIN	11	21	0	4	21	25	82
19	Kari Christiansen	NOR	28	14	8	0	0	28	78
20	Elisabeth Drotz	SWE	14	18	-	0	27	13	72

=男子=

順位	選手名	国名	開催国						計
			SWE	FIN	RUS	HUN	AUT	ITA	
1	Joakim Ingelsson	SWE	40	35	31	21	20	37	164
2	Martin Johansson	SWE	30	31	40	14	21	29	151
3	Keijo Pakkinen	FIN	26	26	23	29	35	33	149
4	Vladimir Alexejev	RUS	25	24	27	0	31	31	138
5	Björnar Valstad	NOR	31	35	30	0	16	21	133
6	Håvard Tveite	NOR	28	25	9	33	3	35	130
7	Micheal Wehlin	SWE	-	28	37	9	23	22	119
8	Thomas Bühner	SUI	-	12	12	35	25	30	114
9	Arto Rautiainen	SWE	37	-	-	25	24	25	111
10	Sixten Sild	EST	21	11	22	27	28	-	109
11	Jozef Pollak	TCH	0	-	13	26	40	27	106
12	Petter Thoresen	NOR	6	30	33	20	0	10	99
13	Jörgen Mårtensson	SWE	-	-	-	40	30	28	98
14	Petri Forman	FIN	33	37	0	0	0	23	93
15	Inno Ling	EST	13	18	35	0	26	-	92
16	Alistair Landels	NZL	0	13	20	24	33	0	90
17	Rudolf Ropek	TCH	23	1	0	22	27	17	90
18	Johan Iversson	SWE	35	29	24	-	-	-	88
19	Jon Tvedt	NOR	29	-	-	15	14	26	84
20	Lars Holmquist	SWE	12	40	29	-	-	-	81

IOF (国際オリエンテリング連盟) 総会報告



ランクされているが、相当な高得点を稼がなければならないし、勝つことは難しい。

今年のワールドカップ・オリエンテリングは国際的な幅の広がりを見せた。また、より厳格なコントロールの置き方やコースの必要性が確認された。スカンジナビアの支配はもはや強くない。特に典型的な中央ヨーロッパのテラインでは、スウェーデン、ノルウェーそしてフィンランドのオリエンティアたちはいくつかの欠点を見せた。IOFに加盟した多くの新しいヨーロッパ諸国が競技者の数において増加の先導をした。ワールドカップ・グループは、この歓迎すべき増加に如何に対処するかを検討することになるだろう。

それぞれのクラスへの2人のランナーの基本的割り当てや2分毎のスタート間隔が、ベスト20の者を後半スタートへ回すシーディングなどとともに、おそらく皆に公平となるのだが。

[1992 WORLD CUP Bulletin No.2 より]

【累計表の国名略号説明】

SWE	= スウェーデン
GBR	= イギリス
TCH	= チェコ
NOR	= ノルウェー
FIN	= フィンランド
SUI	= スイス
DEN	= デンマーク
RUS	= ロシア
EST	= エストニア
NZL	= ニュージーランド
HUN	= ハンガリー
AUT	= オーストリア
ITA	= イタリア

☆この記事は、本誌 91/9, 91/10の世界選手権報告、および 92/3 の齋藤英之氏による「世界のエリート達」を参照しながらお読みいただければ幸いです。 =編集部

第16回IOF総会は、7月7日から12日にかけてスイスのフィルツバッハで開催され、最も歴史的な機会となる結果で終わった。エストニア、ラトビア、リトアニア、ロシア、ウクライナ、スロベニア、クロアチア、中国、オランダ、南アフリカそしてマレーシアの11か国がIOFの新メンバーとして認められた。このIOFは1962年には10か国のメンバーで発足したのである。

オーストラリアからは、オーストラリア・オリエンテリング連盟の会計担当キャシー・ライリーとIOF評議員会メンバーとしての立場で出席した(私)ヒュー・キャメロンがこの総会での代表であった。

1992~94年期の役員選任が行われ、次の人たちが評議員会に選ばれた。

ハツ・チュティン (スイス)	= 会長
スー・ルグレイ (イギリス)	= 副会長
ヒュー・キャメロン (オーストラリア)	= 同
オウ・ヤコブソン (スウェーデン)	= 同
ロウ・ケルムット (ハンガリー)、ジョ・アラン・ヴァン・デル・スヘンデ (アメリカ)、エドモント・シェンニ (フランス)、イザベル・カスチル (ノルウェー)	

評議員会への「ヨーロッパ外」の代表を固めると同時に、この総会では1988年に確立された地域割り組織を廃止した。

●総会では1993~94年のIOF事業のための評議員会の目標、すなわち金銭的評価、持続的發展などを承認した。

●クラシック・ディスタンス(編集部注:従来から引き続き行われている、最近流行りのショート・ディスタンスと対比して使われている種目用語)の選考基準に関する世界選手権ルールは、次の原則に基づくことになるであろう。

- ・選手の最大数を80人とする。加えて開催国は4人まで認める。
- ・国のランクはそのより早い実施——主として前述のクラシック・ディスタンス——による。
- ・各国1人ずつのエントリーの権利を持つ。
- ・残りの数で国のランキングに従ってエントリー数を割り当てる。

●加盟国は今後IOFとの間でのスポンサー契約を交渉することは、至って自由となる。

●IOFの公用語は今後英語となるであろう。

●電子パンチ器具が1992年のワールドカップ最終戦で試験的に使われる模様。

●国際大会に関してのいくつかの決定がなされた。

・スキージニアオリエンテリング・ジュニア世界選手権を1994年から2年毎に開催。

・IOFは全ての加盟国に、オリンピック・スポーツに十分受け入れられようオリエンテリング促進のために活発に働くべきである。

・ドイツが1995年世界選手権の開催国として確認された。——活動の中心はリッペ地方のデトモンド(編集部注:旧西ドイツ中西部の都市ベーザー山地中の盆地に位置。ハノーバーの南西123km。周辺農村の中心地。家具・電気器具工業が行われる。夏の保養地。=以上、コンサイス外国地名事典より抜粋)となる予定。

・1996年のスキージニアオリエンテリング世界選手権はノルウェーで開催。

・1997年の世界選手権はノルウェーで開催。

・評議員会における前もっての決定として、ジュニア世界選手権は1995年にはデンマーク、1996年にはルーマニアで開催されることになるであろう。

●オーストラリアは2001年の世界選手権のステージとしての関心がある旨の発表をした。

スイス・オリエンテリング連盟の運営ともてなしは素晴らしい。特に、イヴォンヌ・カスバリとマリアヌス・バンディクセンご両人は記憶に残る16回総会にするため、たゆみなく働かれた。

次のIOF総会は1994年にブルガリアのバルガで行われる。

ヒュー・キャメロン

[THE AUSTRALIAN ORIENTEER

No.4/92 AUGUST]

ユニバーシアード92 in SCOTLAND

報告 桐田 幸宏
編集 岩出 雅人



1992年度ユニバーシアード（世界学生選手権大会）は、イギリスはスコットランドのアバディーン市郊外で行われた。

選手達は、市街北方のオールドタウンと呼ばれる古い町並みをつつむ、シートンパーク（Seaton Park）の中、カの大詩人バイロンを生んだというアバディーン大学に宿舍をとった。

日本選手団の多くは、この大会よりかなり早く日本を離れている。大半は、1週間前にスウェーデンでのオリンピック大会にも参加。前半3日間のみの競技を終えて、イギリスへと旅立っていった。大会直前は、Aberdeenと、個人戦の行われるAboyneのほぼ中間、Banchoryという町でトレーニングキャンプを行い、最後の調整が行われている。

今回、日本を代表した選手達は下記の通り。4月29日に開催されたAPOCのプレイベントに兼ねて、セレクトションレースが行われ、レース結果を参考に、山岸倫也・吉田勉両氏によって即日選抜された。

【男子】

加賀屋博文（筑波大）
菊池 正昭（東北大）
国沢 五月（一橋大）
利光 良平（駒沢大）
松葉 敏則（早稲田大）

【女子】

飯村亜紀子（東工大）
奥山 陽子（相模女子大）
小西 陽子（筑波大）
富士 淑子（千葉大）
渡辺 初実（日本女子大）

— 個人戦 —

個人戦は、Aberdeenの西方、Aboyneと呼ばれる地区で行われた。

我々がアバディーン大学へ着くと、選手達は随時バスに乗って、スタートへ向かおうとしているところだった。ゴールへ先回りして、選手達を待つ。ユニバーシアードは、それ程観戦客と呼ばれる人達もいなく、参加者だけの比較的小じまりとした大会だ。

日本人選手達は、だいたいスタートの順にゴールをしていく。最初にゴールをしてきたのは男子の菊池選手。「富士のような感じだけど、斜面は急。前半2つ大きなミスをした。2時間切れなかった（菊池）。」しかし、それでも彼は日本男子選手の中のトップ 12' 07。

女子で最初に入ってきたのは飯村選手。「Very hard デライン。ロングレグが等高線に対して斜めに長い。どこが深いのかわからなくて、足元がごっこさる。これがつらかった。外人さんVery fast。体力をつけないと話にならない（飯村）。」日本でのセレクトションレースではトップだった飯村選手は、足を痛めている模様。ミイラのようにテーピングをしての出走だった。

続いて、女子渡辺選手。「つばりはしなかったがスピードが出ない。外人さんと同じレグ走っていると、私がつまづく行っても、地形見ながら走ってる外人さんと同じになる。コンパス見ないで地形を見て走っている。でも、次の選手（3分後のポーランド）に3番ポストまで会わなかった。えらいでしょ。（渡辺）」

更に続いて男子加賀屋選手。顔を血に染めての壮絶なゴールだった（本人は平気な顔をしている）。「外人はバカ速いとは思わないけど、差がついてしまう。ゆるい登りとか平気で走っていく（加賀屋）。」

そのあと女子小西選手がゴール。小西選手も足を痛めていた。女子の飯村・渡辺・小西は共に138-139分の似たようなタイム。仲が良かった。

続いて、女子富士選手。「なが〜い」と叫びながらのゴール。日本人としては他の選手を圧倒する112分だったが、順位的には日本人の人数分だけ上にいるだけで「みんな同じカテゴリー（吉田コーチ）」。ユニバー出場が2回目の本人は、「昨年、トップの2倍以上かかったから、今年の目標は1.5倍だった。目標を達成できなかった。2年後にまた走ると思った意欲を持ってきたつもりだったから、緊張しちゃった。もう、これ以上出れないから、あー残念（富士）。」

その後、男子利光選手がちょっと精彩を欠くタイムでゴール。続いて、女子奥山選手が日本人としては、富士に次ぐまずまずのタイムでゴール。男子エースの国沢選手は菊池のタイムに及ばず、更に最後に残った男子松葉選手も大きくタイムをロスしたようで、結局男子は1人も2時間を切ることはできなかった。

優勝をしたのは、男子ガフィンランドのJ. KAHELIN 83' 53"。女子が、チェコスロバキアのM. KUBATCOVA 67' 17"だった。女子KUBATCOVA選手は富士と並んでも、さほど身長も変わらない小柄な選手。ここに、こんなパワーがあるのだからと、摩訶不思議さだけが印象に残った。

〈個人戦成績〉

男子（出走88人）

1. J. KAHELIN	FIN	83' 53"
2. S. PALMER	GBR	85' 46"
3. K. CEDERBERG	FIN	86' 52"

66. 菊池 正昭		120' 07"
69. 国沢 五月		123' 39"
72. 加賀屋博文		125' 21"
78. 利光 良平		136' 32"
84. 松葉 敏則		163' 16"

女子（出走74人）

1. M. KUBATCOVA	TCH	67' 17"
2. E. KOSKIVAARA	FIN	69' 06"
3. J. CIESLAROVA	TCH	69' 37"

66. 福士 淑子		112' 00"
67. 奥山 陽子		123' 25"
68. 渡辺 初実		138' 06"
69. 飯村亜紀子		138' 44"
70. 小西 陽子		139' 26"

が、結果はグラフの通り。ウムスタート回避と、完走の目標は成し遂げた。

最後に、団体戦を走った本人達の感想を紹介して、報告を締めたいと思う。

「日本人が難しいコースに適応できないとかそんなものではない。コースは別に難しくないし、きちんとプランニングと手順をふめば、まともなレースができたはずだ。しかし、アタック（最も自分自身でちゃんとやらねばいけないところ）で外国のランナーを見ると、自分自身のOLを棄てて引き寄せられて、どうってことのないコントロールでロスしてしまう。もっと自分に自信を持ってレースすべきだった。（菊池）」

「前半の上りぎみのレッグと、凡ミスの連続でスピードが上がらなかった。後半は、自分なりの流れのあるOLができたつもりだが、遅いと言われて悲しい。全般的に“走る”という基本的な動作自体に問題がありすぎる様だ。世界のレベルがどうのこうの言う前に、どんな所でも着実に走れる“力”をつける努力が必要みたいです。でもこんなことは、いつも言われていることだし、今さら何をという気もするけど。（国沢）」

「観客全員の拍手の中、ゴールレーンを走ることができて気持ちよかった（実はトップのフィンランドが、すぐ後ろをウイングランしていたため）。レースの内容は、前半は直進中心で気持ちよく走れた。しかし、後半は体力的につかれてスピードが低下し、また集中力にも欠けてペースが落ちてしまった。また全体的にアタックでのミスが多かった。70分は切りたいところだった。まあ、数レッグだけだけれどもドイツと競えることができたし、いい経験になった。やはり世界とは体力的な差が大きいので、今後、もっと走力をつけなければならぬことを痛感した。（加賀屋）」

「今までインカレで大学にメンバーがいなくてリレーを走ったことがなかったので、このレースを自分の学生生活の中で与えられた唯一のリレーレース（学生として）と位置づけて走った。4走でアイルランドを追う立場だったが、第2コントロールで追いついて抜いたときには大変うれしかった。（このような展開にしてくれた1～3走のチームメイトに感



団体戦（リレー）出走を待つ緊張の2走・福士選手をリラックスさせる吉田 勉チームリーダー

一団体戦一

個人戦が終わった夜、チームリーダー（監督）の吉田勉氏は、こう話していた。「今日はみんな遅い。期待していた程速くない。こんなもんかという気もするが、1人が2人は、もう少し上について欲しい。それだけの準備はしてきたと思う。これで気分的に慣れてくれば、もう少しよくなるでしょう。リザルトを見る限りリレーで闘うところはあまりない。男子はUSAとアイルランドとスロベニアには勝つでしょう。上は強すぎるので、どっかを食べば、すごい御の字。コンビートすることはあまりなし。ソ連も近いんだけど、1人だけ速いやつがいて（個人戦5位のSergey Sibilev）、20分くらい遅くかも知れない。だからちよつとダメだろうな。あとはドイツがどっか

ガボケてくれば…。女子は、アイルランドと中盤くらいまで、そう差がつかないでリレーができればいいんじゃないでしょうか。あとは無理。女子はとにかく時間内に完走して、そこそこの成績を残せば、それが第一。できればウムにならなければうれしいが無理でしょう。」

このあと、吉田氏によって、リレーメンバーの選考と走順が決定された。

男子：菊池→国沢→加賀屋→利光

女子：小西→福士→渡辺→奥山

ふたを開けてみれば、男子はアイルランドに予想外の苦戦。2走のエース対決はアイルランドがすばらしいタイムを出して国沢を引き難し、アンカーまで勝負がもつれ込む展開となった。

女子は2走の福士が、ポーランドとアイルランドを抜いて、一時順位を上げた

謝)しかし抜くまでの間にバックとなつて互いにタイムをロスしたので、いつもからリレーのレースになれる努力をすべきだったと反省している。レース後は、スコットランドの草原の会場で学生オリエンティアとして全てをやり終えた充実感(レースの結果は別として)にひたっていました。(利光)

「おもしろかった。5ポまではスイスと一緒に走った。4ポまでスウェーデンもいた。3ポに行く途中ポーランド人に道を聞かれた。2ポでイギリス人がつぼっていた。1ポまではたくさん人がいたのに…。前半はみんなつぼつて、自分はつぼつてないから一緒に走った。後半はみんな調子づいて、私はつぼつた。(小西)」

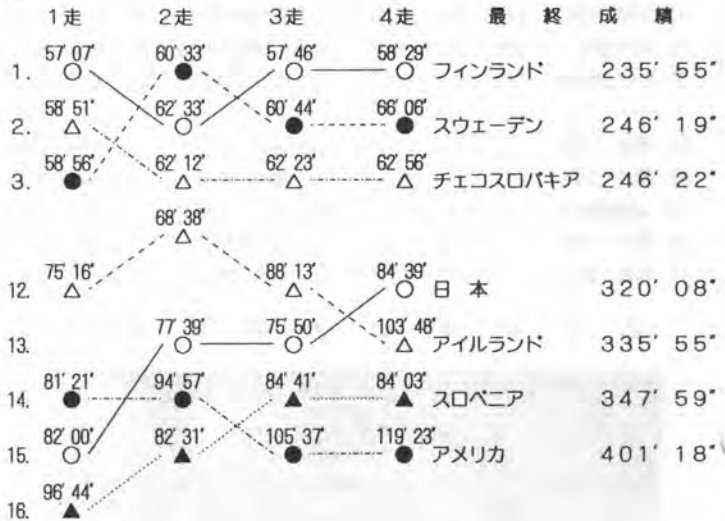
「思っていたよりはスタートでドキドキしたけれど、個人の時より落ち着いたレースができたと思う。3番でアイルランドに追いついて、しばらく競つて走っていたが、むこうがさせてミスしてくれたおかげで早く帰つてくれた(でも一緒に走れておもしろかった)。ラストくらいで集中力きれそうになったり(90°違う方向へ下りそうになった)レース内容は情けなかったけれど、最後まで元気に走れたことが私にとっては何よりも楽しかった。(福士)」

「福士さんからタッチを受ける時、いつもの通りのオリエンテーリングをしよう、きちんと4走につなぐぞと心に決めてスタートしました。前半は、きちんとオリエンテーリングが出来ていて、ポストもきちんととれてとても楽しかったです。ところが後半で斜面を降りすぎて、1ヶ所大きくつぼつてしまつて、とても楽しかったです。他の国の選手からも、大きく遅れてしまつたし、一緒に走ってきたみんなにも申し訳なく思いました。この楽しさは、これからのトレーニングをきちんと、頑張っていくエネルギーにしたいと思います。(渡辺)」

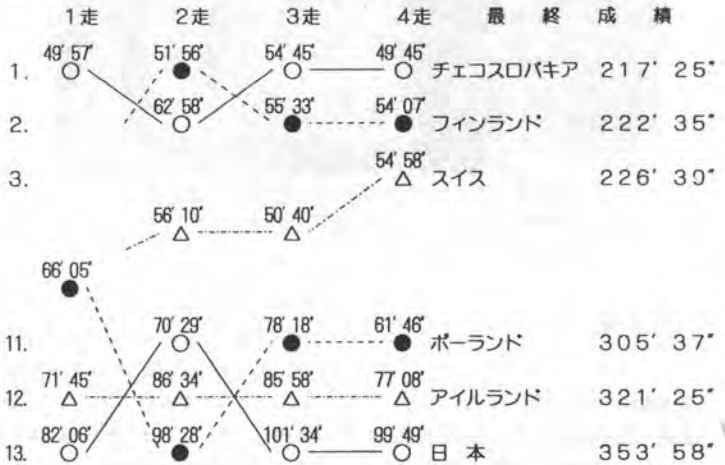
「リレーは個人戦に引き続き、他のオリエンティアが誰もいない中でのレースでした。レース内容は、1番ポストからミス。2番では思いつ切りつぼり、足をひねり…と、良いところのないレースでした。ゴール後は飯村さんに大変お世話になりました。どうもありがとう。(奥山)」

〈団体戦成績〉

男子



女子



団体戦男子優勝のフィンランドチーム

■第2回“中国・四国・九州”
ブロック連絡会 報告

時：92. 9. 6 所：第7回OLC吉備路大会第2
日の会場

第1. コンセプト

1. “中四九”内のリエテリグ 組織の代表者 + 有志個人の自主的な集い。
2. 公開行事の開催情報・意見交換（会則や義務は不要）。会議の報告&次回の案内は、『O-JAPAN』誌上に依る。
3. 次回の全日本O（島根）終了までの連絡幹事は、次の※印（四氏）……

第2. 今回の出席者=氏名に傍線。傍線なし=案内に呼応され御懇篤な音信あり。

所属	氏名	☎
島根OC	※財間 定義	08548-2-1405
吉備路	吉岡 康子	0864-62-2378
〃	和田美千代	0866-22-0053
広島OC	角田 清晴	0899-57-0967
広大OC	飯谷 国明	0824-23-1646
学連	※村田 武俊	0839-28-1342
和WOLC	※宮内 祐	0899-84-8276
北九州	※吉田 智昭	093-962-8235
吉備路	大岸 会長	0862-79-5730
〃	中野 浩	0864-73-0733
福山OC	佐藤 会長	0849-25-1180
広大OC	尾川 正洋	082-254-9274
山大OC	小山 宏之	0834-88-0626
山口県	福田 良雄	0834-26-1538
和WOLC	伊藤 好信	0892-21-1122
福岡OC	井上 直子	092-806-0906

第3. 本年10月以降～1年間の
行事予定（中四九のランキング対象大会
のみ掲載させていただきます=O-JAPAN 編集部）

月日	公開行事	開催地	連絡先
10/04	北九州市民体育祭O（北九州市）	093-962-8235	北九
11	山工学部大会（小野田市）	0836-35-8755	山工
11/1	山口大学・天王杯（美禰市）	0839-24-0778	山口
8	スポレクふくおかO（福岡県）	0942-78-2469	福岡
22	第13回広島大学大会（湯来町）	082-248-6975	広島
23	広島県O兼向原町大会（向原町）	082-220-1657	広島
12/13	第26回真備町大会（真備町）	0864-62-2378	広島
1/10	第22回山工大会（秋吉台）	0839-28-2599	山工
17	北九州OLC 新春大会（北九州市）	093-962-8235	北九
2/28	第8回稲妻杯広大大会（広島県）	0829-56-2816	広島
3/7	福岡地区O大会（大野城市）	0942-78-2469	福岡
14	福山市民O大会（福山市）	0849-55-6409	福山

第4. 提案案3件、いずれもOK。

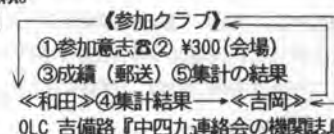
＝中四九のランキング＝

- ①対象 「中四九」ブロックのオリエンテーリングクラブのうち、参加を希望するクラブのクラブ員。
- ②対象大会 上記の参加クラブ（またはクラブ員）が運営に関わる大会で、主として上級者・中級者を対象としたもの（上記参照）。
- ③ルール (1) 男女の最高クラスについて、1位10点・2位9点～10位1点のポイントを与える（中四九ブロック内の参加意志表明クラブの所属者に対して）。(2) 1位タイムの140%を越える者は、10位以内であってもポイントを与えない。(3) 1位タイムの120%～140%の者は、5位以内であっても5点とする。(4) 1992年度は、92年10月～93年3月とし、その合計ポイントで年

間順位を決定する。(5) プライバシー保護上、得点下位の成績は公表を控えるよう配慮。

- ④事務処理 (1) 対象大会の運営に関わったクラブは、男女の最高クラスの全員の成績（所属クラブ・タイムの入ったもの）をできるだけ早く「集計担当者」に文書で報告する。(2) 集計後の情報は、その直後の対象大会で発表。最終結果は、各クラブに送付する。(3) 事務処理の経費として、各参加クラブは年間300円を納入する。(4) 集計・速報担当=和田美千代さん+補佐役=吉岡康子さんに依頼。

⑤連絡模式図



＝100キロ・コンペの申請＝

- ①主旨 JOAへの申請は、なるべく（10件とか、距離合計100キロごと）まとめて行なうように。ただし、P C1コースもしくは一大会ごとの申請料=¥200、10件まとめなら=¥2,000申込みとなります。

- ②理由 JOAの負担軽減に協力するため。

＝『O-JAPAN』クラブ登録＝

- ①主旨 最近の『O-JAPAN』8月号9頁の「クラブ購読へ切替えのお勧め」参照②理由クラブ活動上、少なくない「メリット」を享受できます。

＝後言己＝

第7回吉備路Oと共に第2回中四九ブロック連絡会が、前進への寄与を……OLC吉備路ならびに連絡会メンバーの方々ありがとうございました。

財間 定義（島根OC）

■第13回広島大学オリエン
テーリング大会 兼 広島県
オリエンテーリング大会
へのお誘い

運営責任者 尾川 正洋

みなさん、いよいよ秋のオリエンテーリングの季節がやって参りましたが、いかがお過ごしでしょうか。私たち広島大学OLCは11月22日（日）に広島県佐伯郡湯来町において第13回広島大学オリエンテーリング大会を開催します。このゲレンデは、今までみなさんが「広島=藪」のイメージを持っていらしたと思いますが、そのイメージを破る「とても白い」ゲレンデです。少々交通の便が悪いため、バスを貸し切り広島駅から運びますので、かえって参加しやすいかと思えます。また、次の日の祝日「勤労感謝の日」は、広島県高田郡向原町で「広島オリエンテーリングクラブ」が「向原町オリエンテーリング大会」を開催されるということで、

さわやかな秋の2日間、バッチリ

広島でOLをして楽しみましょう。

広大会要綱は既にO-JAPAN6月号に綴り込み済みです。向原町大会は9月号に綴り込み予定のようです。

【問い合わせ先】

広島大学大会	大藪 哲哉	☎082-248-6975（下宿）
	内海はやと	☎082-255-9353（下宿）
向原町大会	太田 尊司	☎082646-4239
	三好 正夫	☎082-220-1657

（追伸）要綱発行後、「兼・広島県大会」ということが決まりましたので、よろしく願います。

第12回 コンターズ練習会

- 1992年8月2日
- 神戸市再度(3次)公園

前日、大阪の服部緑地公園で開催された豊中OLCの昼と夜の大会に参加し、宿の服部緑地ユースホステルを7時半に出発した。会場はJR「三宮」駅からバスで約30分、六甲山の中腹に位置し、標高400mで、森林植物園もすぐ近くにある。

毎年8月第一日曜日は甲南OLCコンターズの練習会で65名が参加した。特に今回の目玉はコンピューター作図によるMAPで、前半は普通の地図、後半は小径、岩崖、岩等を消してあり、等高線を辿ってのOLで、完走はしたけれども自分の位置確認に大変とまどった。

汗だくになり、公園内の池で泳いだ人もおり、茶店でのカレーライス、おでん、ビールは大変美味であった。

夏に2日間続けてOLに参加したことは初めての経験で、主催者の皆様に感謝いたします。

伊勢市・岡本 忠佳

真夏のOL大会！ 8月9日に宮島で開催

地元の中・高校生の間で人気のあるRCC・中国放送のラジオ番組「びしびしぱしらんらん」から、番組スタッフと聴取者の親睦交流をはかることを目的としたイベントにOL大会を実施したいので運営をお願いできないか、という嬉しい話が飛び込んできたのは7月下旬でした。

「この暑さの中で……」と思ったが、幸い主催者側の開催希望地が、既製の地図もあり、初心者向コースの組みやすい「宮島」であったことから、実施日まで準備期間は短いけれど、OLの普及にはめったにない機会であると考えて協力することにした。

それでも暑さのことで、「OLは面白い、またやりたい」という印象を持って貰いたいと考えて、距離も4kmに抑え、ポスト位置も易しいコースを準備したが、前日に通過した台風10号の余波で当日は日差しも弱く、気温もあまり上昇しなかったのは幸いであった。

競技は5～6人のグループに番組のスタッフ1名が加わるというチーム編成で、大会名の「びしびしカップOL大会・小泉によるよろろを探せ！」のとおり、中間に有人ポスト(写真のようなスタイルの小泉アナウンサーがいる)を設けて行なったが、中・高校生ともなると地図の正置や読み方のマスターも早く、全チームが予想通り1時間前後



のタイムで無事にゴールイン、我々をホッとさせてくれ、また主催者の目的も充分に果たせたようでした。

それにしても、短期間の間に多くの参加者を集めることができるマスコミの力には今更のように感心しました。今回はチーム編成に必要なスタッフの人数の関係で、抽選により参加者を150名に限定されたことは、残念といえば残念でしたが、参加された方達がこれからもOLを続けてくれること、そして主催者側には今後もこのような大会を開催していただくことを願っていて、我々も運営を通し楽しい一日を過ごしました。

広島OLC・三好 正夫



東海地区 クラブ連絡協議会合宿

- 1992年8月22・23日
- 長野県・駒ヶ根高原

従来愛知県下のクラブが持ち回りでやっていた合宿を連絡協が取り上げて、より広い範囲の人にも参加していただけるようになった。定員の50名を数名上回る申込みで、急遽40枚の地図を追加発注しました。

定刻の13:30には殆どの方が集合し、いよいよ第1ステージの「紅白対抗戦」がスタートしました。第1ステージの準備と運営は岐阜OLC協会の生田さんが当たられまし

た。1日早く来て準備していただいたそうで、大変感謝しています。コースは8の字のようになっており、8の字の交点がスタート・ゴール・第3ポストの3つの役割を持っている。そして上と下にそれぞれ2個のポストがある。紅白それぞれ1名ずつが同時にスタートし、紅チームが1→2→3→4→5なら白チームは4→5→3→1→2と走り、速いチームに1点が与えられ、得点の多いチームが勝ちというOL。紅白が同等のレベルになるよう、予め参加者を層別しておいた上、くじでチーム、コース、スタート時刻を決めるなど配慮されていました。クラスにあった難易度のコース設定がしてあり、トレーニングになり、また楽しめました。結果は紅チームの圧勝でした。翌日のトレ開始前に結果の発表と賞品授与がありました。

4時頃には第1ステージを終えて、ロープウェイへのバス乗り場近くの民宿「八幡屋」へ移動。風呂へ入ったり、OLウェアを洗ったりして、夕食前のひとときを過ごしました。つままいOLCや愛知OLCの方は翌日の準備をされていましたし、三河OLCは10月に開催するショートOLのやり方について議論していたようです。夕食後はまたビールなどのグラスを傾けながら、OL議論に花がさいていました。

翌日も大変気持ちの良い好天で、第2ステージを迎えました。名前は「ベアポストOL」というのでしょうか。20ポストが地図に提示され、パンチ記号が2つずつ一組で計10ベアある。男は5ベア、女は4ベア揃ったらゴールし、タイムを競うもの。但し制限は1時間。近いところから遠いポストまで必死で走り回ったが、もう少し、頭を使うと楽ができた。というのは最大15個を回れば揃うので、遠い辛いところは最初から捨てていくべきだったので。結局、MAXの15個を回った挙げ句、ゴールへの途中で護岸された川を渡ったり、可能性の悪い藪に捕まるなど、あんまり芳しくありませんでした。つままいOLCさん、運営ご苦労様でした。

最後の第3ステージは愛知OLCによるミニOL。丁度当日ジャズフェスティバルがあるため、夕方の混雑を避け、予定より45分早めてスタート。LA、SA、Bの3コース。私はトレのためLAにチャレンジ。前半のフラットな部分での直進。中盤は地形読みと体力。特徴物をもう少し多角的に捕らえるようにしなければと思う。LAは4.3kmを38分で走り、2位に5分の差を付けた稲葉さんが圧勝でした。

最後に表彰式を行ない、2時に解散。ひとりで受付、宿の手配、会計などをやっていただいた会長の土屋さんに感謝。高原の涼しいところでOLやるのは最高です。夏はこれに限りますね。

三河OLC・小野 盛光

第7回

OLC吉備路2日間O

●1992年9月5・6日

●岡山市内

【伊寺】恒例・9月第1土曜日の2日間大会。両日とも、好天に恵まれました。

【戸斤】初日は、JR岡山駅から北方・徒歩15分の岡山県営総合グラウンドを会場に、18:30より受付開始で、ナイトO。大会マップは、1/3,000・4色刷り。6年前に作図された物であったが、支障はなかった。

翌日は、JR岡山駅から、路面電車で東南方に約10分、終点下車・歩いて約5分余の護国神社前で、朝9:00より受付開始で、ポイントO。いわゆる「神域」であると共に「国有の自然保養林」。大会マップは、通行可能度3段階入りのOマップ。アップ&ダウンを織り込んだ体力勝負+オリエン技能も問うコースプランニングであった。

【人】地元の少年グループ、中国・近畿・東海から複数+四国・東京から各1名のオリエンティアが集結。初日20人余・2日目40人余が出走、運営スタッフ9人。ゴール後、定例の「中国・四国・九州」地区オリエン組織連絡会も開催!

＝成績のトップ2は＝

ナ イ ト	HA	1. 0 ^h 21'08" 早野 哲郎 (広島OLC)
		2. 0 ^h 26'05" 尾川 正洋 (広大OLC)
	DB	1. 0 ^h 33'26" 堀口多賀子 (OLC吉備路)
		2. 0 ^h 45'12" 中田 啓子 (OLCルーバー)
HB	1. 0 ^h 28'52" 伊藤 好信 (えひめOLC)	
	2. 0 ^h 29'41" 堀口 章三 (OLC吉備路)	
第 2 日	HA	1. 1 ^h 26'35" 尾川 正洋 (広大OLC)
		2. 1 ^h 35'34" 浜上 進 (三菱自工水島)
	DB	1. 1 ^h 58'24" 堀口多賀子 (OLC吉備路)
		2. 2 ^h 06'67" 中田 啓子 (OLCルーバー)
HB	1. 1 ^h 41'42" 水野 節 (三菱自工水島)	
	2. 1 ^h 41'45" 財間 定義 (島根OC)	
他に、グループ=6組。		

島根OC・財間 定義



FAXエントリー—実用化へ

町のあちこちで見かける銀行のATM。会社の昼休みや帰りがけに、ちょっと入って大会の参加料を振込。申込書は、ファクシミリでOK——そんなビジネスマン待望のエントリーシステムが近く実用化される。

早大OCのOB会である早大OC寿会のメンバー3人は、このほどFAXエントリーシステムの基本構想をまとめ、早大OC大会の実行委員会に提出、今年度の大会から実用化しよう働きかけた。今回の早大OC大会は第15回記念大会に当たるため、導入は確実に見られる。

勝ち負けを考えるならFAXまでやらなきゃ

話はPC-VANから始まった。池ヶ谷悦朗が「しーら」こと白戸秀和に電子メールで「今度のOC大会で、PC-VANの電子メールと銀行口座を利用したエントリーを実用化しよう現役に働きかけようと思うんだけど、どう思う？」と尋ねたのが、事の始まりだった。

この時、池ヶ谷は白戸にいくつかの点について意見を求めたのだが、中でも一番気にしていたのが「FAXや電話によるエントリーと比べてどうだろうか。後発の大会がFAXによる申込受付を始めた時、敗北にならないか。」という点だった。

池ヶ谷は、このPC-VANを利用したエントリーシステムがもたらすインパクトについて、『フロッピー成績表』と同じ程度だろうと考えていた。

フロッピー成績表は、第12回早大OC大会(忍野八海)の時に、彼自身が提言したもの。その後、他のクラブによる追従もあり、その意味では満足しているのだが、毎年の利用者は20人程度斬新とは言え、パソコンユーザでなければ役に立たず、インパクトは小さい。まして、今回の話では、さらにPC-VANにも加入していなければならない。「へえ〜。ふう〜ん。」だけで終わってしまう可能性も大きい。

他方、FAXによるエントリーが実現したら、やはり衝撃的だろう。少なくともビジネスマンに与えるインパクトは大きいはずだ。利用者の数だってケタが違うだろう。

しかし、FAXエントリーを実現するためには、いくつかの難問を解決しなければならない。参加料だけ入金されてFAXが来なかったら。FAXだけ来て参加料が支払われなかったら。後になってFAXを送っただけの来ていないだのといったもめごとが起きないか。・・・いろいろなトラブルが思い浮かぶ。そういうことを考えると、消極的にならざるを得ない。

あくる朝、池ヶ谷がPC-VANに入ると、白戸からの返事が届いていた。白戸は池ヶ谷のメールを受けた後、午前2時過ぎまでかけて意見をまとめたのだ。

「申込の多様化、サービスの充実として画期的なアイデア」、「ほかの大会では行われていない試み」であり、「充分やる価値はある」——白戸は、こう答えた。そして、「勝ち負けを考えるならFAXまでやらなきゃダメでしょう。」の一言。

「なんとかしてFAXまでやろう。」——読み終えた時、池ヶ谷の決意は固まっていた。

着信確認が最大の課題

白戸の返事には、機器の用意やFAX用回線の確保といったハード面から、申込期限や入金期限の設定、そして、着信確認の方法等々のソフト面に至るまで、あらゆる角度から問題点や解決策の具体案が記されていた。

ハード面について、実は池ヶ谷は楽観的だった。FAXは「買ってもいい」と思っていたし、電話も2回線あり、うち1回線はほとんど使っていなかった。FAX専用回線として大会用に一定期間提供するのもやぶさかではない。

やはり、問題はソフト面である。

その中でも、最も大きな問題が着信確認の問題だ。送った書類が正しく相手方に着いたかどうか。そして、相手に見てもらえらだろうか。通信管理レポートでは「良好」になっていても、重なってしまっていることだってある。慣れない人が裏表反対に送ってしまった場合もお手上げだ。結局のところ、相手の手元に正しく届いたかどうかを知る手だては、電話をかけて確認するしかないのである。しかし、それでは電話番まで必要になってしまう。いくらなんでも、どこの家でも、それはできまい。

「受け付けてから24時間以内に申込者に受付票をFAXにて返送したらどうか。」—— 白戸が言う。しかし、この方法では彼自身も認める通り「コンビニなどからの申込」ができなくなってしまう。

一方、池ヶ谷も伝言FAXや局留めのFAXなどについて調べていた。しかし、地域が限られてしまっただけで困るし、それに何と言っても、いつもの手軽さがそのまま欲しい。

FAXエントリーは座礁したかに思えた。

杞憂

池ヶ谷は、少し冷静にFAXエントリーを実施した時に起こりうる最悪の事態について考えてみることにした。

最悪の事態—— それは、理由は何であれFAXが届かず、「エントリーしたはずなのにプログラムが来ない!」という人が大勢現われて大騒ぎになる—— というケースだと思っていた。しかし、本当にそうだろうか。

池ヶ谷は自分の通帳を開いてながめた。以前、インカレビデオの取り次ぎをやっていた頃のページだ。良く知った仲間の名前が並ぶ。

その時、池ヶ谷には、なんだか全然問題がないように思えてきた。入金さえしてもらえれば、ここにこうして記録が残る。もしFAXが届いていなければ、連絡をとって再送してもらえば良いのではないか。プログラムを発送する前に事故は発見できる。プログラム発送後に大騒ぎになるということは、実は全くの杞憂だったのだ。

また、参加料が支払われないことに関しては、入金なきFAXは無効であることを最初から明示しておけば、それで済む話ではないか。ここでも、通帳は証拠になる。

「大丈夫だ。きっと、うまく行く。」—— そんな予感がした。

引越した人をどうするか

「通帳に印字された名前から、連絡先がわかればいい。ということは、システムに登録されてい

ればいい。」——早大OC大会のコンピューターシステム、W-Score（ダブルスコア）には、過去5年間に1回以上事前申込をした3300人のオリエンティアの氏名、住所、所属、電話番号それに生年月日などが登録されている。この人たちについては、名前がわかれば連絡先はすぐにわかる。

しかし、実際には1年の間に非常に多くの人が引っ越してしまっている。前回エントリー時の電話番号では役に立たない場合が多いのである。

では、FAXエントリーの利用資格を引っ越していない人に限定してしまうか。——そんなことをしたら、利用できる人が極端に少なくなってしまうし、周囲の反発も必至だろう。第一、池ヶ谷自身納得が行かない。

焦点は引っ越した人の取り扱いに移っていった。

池ヶ谷は具体的に考えようと思って表を書き、二人の名前を書き入れた。ふと思いついた後輩の羽鳥と前野の名前である。片や引っ越していない者であり、片や最近引っ越したばかりの者だ。

その瞬間、前野のエントリーは、もっぱら羽鳥が代行していることを思い出した。そして、それがヒントになる。

「引っ越した人には引っ越していない人と一緒にエントリーしてもらえばいいんだ。少なくとも、一緒に送金してもらえば。」——つまり、連絡先に変更があった人は変更がなかった人に相乗りして一括送金してもらえばいいではないか。そうすれば、万一の際にもその代表者を通じて連絡がとれる。

池ヶ谷は、早速、白戸にメールし、意見を求めた。

名前のあとに電話番号をつける

白戸からの返事は1時間もしないうちに来ていた。

「きっと、できますよ。初めてにしては制約も少ないですし・・・でも、トラブルのことを考えながらも、やっぱりなるべく多くの人が簡単にできるように、と思ってしまうのですが。たとえば、銀行振込する時、名前の後に電話番号をつけるというのはできないでしょうか。クレジット会社とかで名前の後に会員番号をつけるとかいうのがあった気がするのですが・・・」

翌朝、池ヶ谷は自分のプランに白戸の意見を書き加えて、白田一雄宛に速達で送った。白田は比較的慎重な意見を言ってくれる貴重な存在である。また、今回は銀行員としての意見も聞きたかった。

そして、その次の日の夜、白田に電話した。

「速達届いた？で、どう思う？」

「詳しいことはわからないけど、いいんじゃない。いいと思うよ。でも、こういうことをやる時は銀行側に協力者が必要だと思うね。是非、ウチに口座を作って下さい。振込みみたいに低コストで資金が集まるのは短期間でも歓迎なんですよ。」

「推奨しておくよ、ちゃんと。ところで、電話番号を相手に通知することってできるの？確か現金だけ持って行って送金する時だよ、電話番号とか、いろいろ入力する必要があるのは。」

「そう。電話番号は必ず打ってもらうのだけれども、その電話番号は相手には通知されない。ただし、送金者の名前として何を打とうと、それは構わない。名前プラス電話番号でも平気。ただ、通帳の字数は限られているからね。」

白田はさらに続けた。

「でも通帳を持って店に来て、この明細の後ろの部分が続いているから照会したい、って言えば、照会できるよ。でも、毎日毎日、そういうことをやったら嫌がられるだろうね。オレなら1時間おきにでもやってやるよ。」

期待通りの手応えが得られた。

翌日、池ヶ谷は早速銀行に飛び込んだ。自分の口座に現金を送金してみようと思ったのである。名前を打つ。さて、いったい何文字打てるのだろう。123・・・と数字を打っていくことにした。全部で30文字打てるようだ。アルファベットも使えるから、クラス名も打てなくはない。池ヶ谷は銀行を出ると足早に会社に向かった。

「できてしまえば、なんだか、ありきたりの方法だなあ。でも、この手のものでは、それが大事か？」——

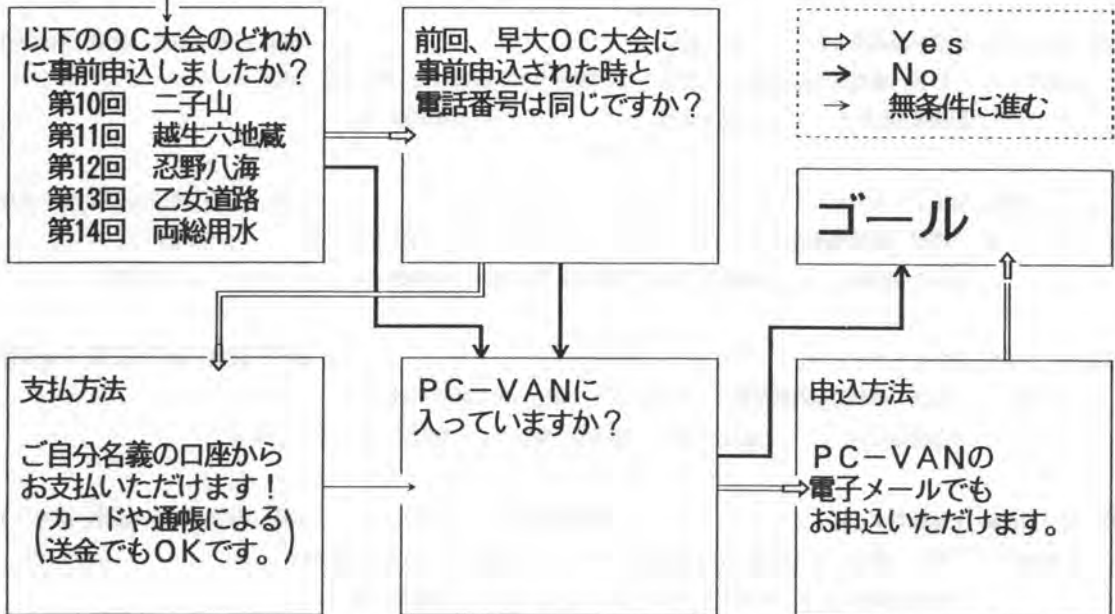
晴々とした気持ちだった。

【完】

スタート 今、あなたが利用できるのは、以下の申込方法と支払方法です。

申込方法 ①郵便による申込
②FAXによる申込

支払方法 ①定額小為替による支払
②ATM利用による支払（カードや通帳を使わない、現金による送金）



申込方法は今後の実行委員会の検討などにより変更になる場合があります。

神奈川県 池ヶ谷悦朗 (早大OC寿会)

クラブ購読(登録)一覧

92.6~9月申込み分

観戦番号	登録番号	正式クラブ名称(略称クラブ名, 7桁7桁名)	肩書	代表者名(任期)
県名		事務局(住所, 氏名, 電話)		
		創立年(和暦)月	会員数(合計, 男, 女)	機関紙(有無, 名称, 回数)
2264 04	40914	宮城学院女子大学学友会オリエンテーリング部 (MGOLC, 社入)	部長	佐藤 育子(任期 5年10月まで)
宮城県	〒982	仙台市太白区八本松一丁目6-32 佐藤 育子 022-247-8502		
		未記入	会員数(34名, 男0名, 女34名)	機関紙(有, へんなひよこ, 年10回)
447 08	40584	筑波大学オリエンテーリング愛好会 (筑波大OL愛好会, 社入)	会長	寺澤 泰明(任期 92年12月まで)
茨城県	〒305	つくば市天王台一丁目1-1 筑波大学体育系サークル会館内 0298-56-1165		
		1975年(昭和50年)	会員数(135名, 男97名, 女38名)	機関紙(有, まわりみち, 年12回)
2225 08	40789	保谷高校オリエンテーリング部 (保谷高OLC, HOLC)	部長	石郷岡 邦男(任期 5年3月まで)
東京都	〒189	東村山市青葉町二丁目13-19 石郷岡 邦男 0423-95-1539		
		未記入	会員数(12名, 男7名, 女5名)	機関紙(無)
990 08	31389	水戸二高オリエンテーリング部 (水戸二高OLC, 社入)	部長	秋葉 久美子(任期 5年6月まで)
茨城県	〒310	水戸市大町二丁目2-14 水戸二高内 0292-24-2543		
		1986年(昭和61年)4月	会員数(32名, 男0名, 女32名)	機関紙(無)
1756 13	40191	大泉学園高校OLC (社入, 社入)	顧問	小嶋 古寛(任期 未記入)
東京都	〒178	練馬区大泉学園町九丁目1-1 都立大泉学園高校内 03-924-3185		
		1980年(昭和55年)	会員数(0名,)	機関紙(無)
177 14	31325	港南オリエンテーリングクラブ (港南OLC, 社入)	会長	三好 良子(任期 6年3月まで)
神奈川県	〒233	横浜市港南区港南台五丁目1-20-201 三好 良子 045-831-1714		
		1982年(昭和57年)	会員数(23名, 男13名, 女10名)	機関紙(有, ニューズレター, 年3回)
1080 14	31290	横浜オリエンテーリングクラブ (横浜OLクラブ, YOLC)	会長	若梅 友行(任期 5年3月まで)
神奈川県	〒236	横浜市金沢区泥亀一丁目28, C-501 寺尾 孝 045-781-8396		
		1973年(昭和48年)	会員数(38名, 男34名, 女4名)	機関紙(有, OL, 年4回)
1841 14	31418	大井電気オリエンテーリングクラブ (大井電気OLC, OECC)	会長	田代 弘幸(任期 未記入)
神奈川県	〒222	横浜市港北区菊名七丁目3-16 西沢 久夫 045-433-3171 楠2543		
		1976年(昭和51年)4月	会員数(9名, 男9名, 女0名)	機関紙(無)
2214 14	40397	鶴見オリエンテーリングクラブ (鶴見OC, TOC)	会長	大久保 保二(任期 5年4月まで)
神奈川県	〒230	横浜市鶴見区岸谷二丁目3-6 水戸 誠 045-581-3925		
		1978年(昭和53年)9月	会員数(22名, 男14名, 女8名)	機関紙(有, 鶴見OLクラブ便り, 年4回)

- 1865 10 40985 三和オリエンテーリングクラブ (三和OLC, SANO) 会長 林 博 (任期 未記入)
石川県 ■910 福井市花堂北一丁目7-15 三和測量建設(株)内 ■0776-36-2790
1973年(聯48年)4月 会員数 (19名, 男13名, 女6名) 機関紙(無)
- 1277 19 40239 山梨中央オリエンテーリングクラブ (山梨中央OLC, YCOC) 会長 清水 善博 (任期 未記入)
山梨県 ■400 山梨県甲府市東光寺三丁目2-22 ■0552-32-5210
1975年(聯50年)11月 会員数 (12名, 男9名, 女3名) 機関紙(無)
- 1858 26 40794 京都橘女子大学オリエンテーリング部 (京都橘女子大OLC, 未記入) 部長 高木 貴美江 (任期 4年12月まで)
京都府 ■607 京都市山科区大宝山田町3 4 ■075-571-1111 代
1984年(聯59年) 会員数 (26名, 男0名, 女26名) 機関紙(有, Fair Play, 年6回)
- 1885 26 30693 京都女子大学オリエンテーリング同好会 (京都女子大学OLC, 未記入) 部長 山崎 敦子 (任期 93年3月まで)
京都府 ■605 京都市東山区今熊野北日吉町3 5 京都女子大学内 ■無
1981年(聯56年) 会員数 (28名, 男0名, 女28名) 機関紙(有, PENALTY, 年10回)
- 2170 26 40019 京都大学オリエンテーリングクラブ (京都大学OLC, 未記入) 部長 児玉 光司 (任期 93年3月まで)
京都府 ■606 京都市左京区田中里ノ前町49 里ノ前荘12 小林 圭 ■075-711-5960
1979年(聯54年) 会員数 (31名, 男28名, 女3名) 機関紙(有, PENALTY, 年10回)
- 1183 27 31286 大阪市立大学オリエンテーリング部 (大阪市大OLC, 未記入) 主将 藤中 知成 (任期 4年12月まで)
大阪府 ■558 大阪市住吉区杉本3 丁目3-138 大阪市立大学内 ■無
1973年(聯48年) 会員数 (28名, 男21名, 女7名) 機関紙(有, 因途路有涙, 年6回)
- 697 27 30353 K. C. S. C. オリエンテーリングクラブ (KCSCOLC, KCSC) 会長 畑中 正一 (任期 未記入)
大阪府 ■586 大阪府河内長野市天野町1304 関西サイクルスポーツセンター 野外活動室 ■0721-54-3102
1981年(聯56年)10月 会員数 (32名, 男29名, 女3名) 機関紙(有, 根路(コンパス), 年6回)
- 1399 28 40803 宝塚市オリエンテーリングクラブ協会 (宝塚市OL協会, TOLA) 会長 土田 伸行 (任期 93年3月まで)
兵庫県 ■665 宝塚市清荒神二丁目4-26 定本 俊彦 ■0797-87-3648
1975年(聯50年)10月 会員数 (29名, 男19名, 女10名) 機関紙(有, オリエンテーリングニュース, 年3回)
- 1087 32 31319 島根OC (島根OC, SiOC) 理事長 財間 定義 (任期 未記入)
島根県 ■694 島根県大田市大田町大正西3 財間 定義 ■08548-2-1405
1991年(年3年)4月 会員数 (20名, 男14名, 女6名) 機関紙(有, シマネスク・オリエンティア, 年12回)
- 1312 33 40476 三菱自工水島オリエンテーリングクラブ (三菱自工水島 MMCO) 部長 浜上 進 (任期 未記入)
岡山県 ■712 岡山県倉敷市水島海岸通1 丁目1 番地 ボディ技術Gr 唐樋 一郎 ■無
1974年(聯49年)12月 会員数 (37名, 男37名, 女2名) 機関紙(無)
- 639 34 31328 広島オリエンテーリングクラブ (広島OLC, HOLC) 会長 江坂 純義 (任期 93年3月まで)
広島県 ■732 広島市東区牛田新町3 丁目7-14-101 三好 正夫 ■082-220-1657
1973年(聯48年)9月 会員数 (51名, 男38名, 女13名) 機関紙(有, みくまり, 年12回)

(申込みあり次第継続掲載いたします)

パーマナントコース りぼ〜と

[以下のコースは、全て富田氏よりマップのコピーを頂いて心の準備をしておいた]

□1992年7月24日(金)
岐阜県 No. 8 ~窪 92-3~
「下呂温泉」
[距離] 8.5 km
[ポスト数] 10本 O-MAP

- マップ取扱所: 下呂町民会館内
教育委員会事務局 ☎ 0576-25-2252
- マスターマップ: 上記事務所にあり。
町民会館前には掲示板はあるが、マスターは無い。
- マップ: 1986年4~6月調査, 1/15000のO-MAP, 一部100円。
- ポスト: かなり錆が出ていますが, 10本とも健在。大きさは標準。ポスト位置は旧マップと変わらず。
- コース: 町の東側の丘陵にある合掌村と峰一合遺跡をまわる比較的易しいコース。

飛騨川(益田川)の清流に沿って走る高山本線のディーゼルで「下呂」駅下車。駅の出口は西側に一つ。駅を出て右側の案内所で町民会館を尋ねると、お嬢さんが「下呂温泉街案内図」で親切に教えてくれる。最初から感じが良い。案内図を買って徒歩6~7分で町民会館に着く。入口を入った一階の右手に教育委員会事務局がある。事務局のマスターからポストを写す。(休日はどうなっているかは未確認)

体温と数度しか違わない猛暑のため、すぐに汗だくになった。ポストはほぼ道なりにあるが、ポスト⑦は夏草に覆われていて記号が見えず、接近も困難であった。何とか草を払ってやっと記号を確認した。ポスト⑥から⑦へは道のヘアピンカーブのところ(現在は工事中)から工事現場を横切って東の方へ進み、小川に沿って登っていく。途中で一休みして水を飲んだら、まさにミネラルウォーターでうまかったが、その上に水田があってガッカリ。稲の間に草は生えていなかっ

たので除草剤をまいているだろう。あの水を分析すれば農薬が検出されるかも。水を飲むなら水田より上流で。水田の南側を東に進むとそのうちに踏み跡も無くなってしまったが、何とか高圧線の鉄塔の下に出た。ポスト7は鉄塔を基準にして探すとよい。ポスト⑧から山を下ると弥生式住居が展示されている峰一合遺跡の公園の中に入ってしまう(柵は閉まっていた)ので適当に外へ出ざるを得ない。なお、ポスト⑤の近くの谷川でも給水できる。ただし、この上流がどうなっているかは未確認。

ポスト⑦が荒れている外はまずまずのコースである。

[下呂温泉合掌村]

白川郷から移築した10棟の合掌造りの民家を配した、往時の生活を知る貴重な博物館といえる。大人 750円

ポスト③は合掌村のすぐ西の斜面の林の中にある。

[峰一合遺跡]

縄文・弥生時代の出土品を考古館に展示、公園内に弥生式住居の集落が復元されている。大人 200円 両方の共通券 850円

ポスト②と③の間で合掌村、ポスト8と9の間で峰一合遺跡をゆっくりと見学し、温泉で疲れを癒せば言うこと無し。

□1992年7月25日(土)
岐阜県 No. 4 ~窪 92-4~
「日本ライン」
[距離] 10 km
[ポスト数] 10本

- マップ取扱所: 美濃加茂市・中濃体育館事務局 ☎ 0574-26-3241
- マスターマップ: 体育館前に掲示板とマップ、ポスト位置は褪色。事務局のマップを写す。
- マップ: 1/25000の旧いまま。無料。
- ポスト: 標準型。更新され、ポスト②

以外は全て記号も変更されている。

- コース: 日本ラインは美濃太田駅の南にあるが、PCのコースはほとんど北側の低い丘陵の中にある。ポスト②~④以外は問題ない。

□

高山本線「美濃太田」駅下車。出口は南側のみ。駅の南東方向へ徒歩10分で中濃体育館に着く。事務室でマップを買いマスターを見せてもらってポスト位置を写す。ポスト①は新しく、これならコースの管理状況も良好と思われた。駅の裏の公園らしい空き地に水場があり、猛暑のため早くもここで給水した。後はどこにも水場が無かったので結果的にはよかった。ポスト②までは新しい道ができていたが迷うことはない。ポスト②を過ぎて池の北側のあたりはマップに無い新しい道ができており、迷ってしまった。やむをえず畑で仕事をしていた人に尋ねて、民家のガレージの脇を北に入っていく道が分かった。カンニングをしてしまった。「今は誰も通らんからどうかな」と土地の人が心配したとおり道は荒れていた。ポスト③は藪の中にあり、ここから北西への踏み分け道は視界の開けたところで夏草に覆われて消滅。ポストの新しいさは裏腹なコースの状態に唖然とした。多分ポストは冬の間に更新され、その時には小道ははっきりしていたのだろう。しばらく北西に進んでやっと小径にでた。更に北へ西へと進んでやっと太い舗装道路に出た。地図上では北に向かう破線が右にカーブして北東方向に実線で示されている、その破線の部分に出ていたのであるが、破線の道が太い舗装道路になっていたことに気付かず、随分迷った末に何とかポスト④にたどり着いた。ポスト②から④まで調査のために行った来たりして実に1時間半を要した。普通なら30分もあれば行ける距離である。それ以外のポストは道なりにあり問題無し。ポスト②~④の間のマップは修正するか、事務局でそれなりの情報を与えてほしい。猛暑の中を4時間うろつき、まさにオーバーヒート。間もなくH60の資格?が得られる身には少々きつかった。時間的に余裕はあったが、すぐ隣の岐阜県OL-PCNo.1「岐阜城」への予定していた連続挑戦はさすがに諦めた。帰りは急に思い立って美濃太田から太

多線が多治見に出、ちょうど止まっていた名古屋行きの快速電車を横目で見ながら、JRの最短距離を中央本線の鈍行でのんびりと帰ってきた。途中、中津川、塩尻、小淵沢、高尾と乗り継いで、豊田(中)まで延べ7時間半、青春18キップなら下呂から2千円少々で、途中で0Lを楽しんで帰って来れる筈。しかもクーラーのきいた4人掛けのボックスにかなりの区間一人で手足を伸ばし、寝覚床では鈍行にも拘らず観光アナウンスもあり、最後に乗った小淵沢高尾行きに至っては、或る区間は一輛貸切という豪華な？旅であった。飛行機や新幹線での狭い指定席のせかせかとした移動に比べて、こんなにゆったりとした旅のあることをあらためて実感した。

□1992年7月30日(金)

山口県 No. 25 ~窪 92-5~

「江汐公園」

[距離] 10 km

[ポスト数] 9本 O-MAP

- マップ取扱所: いこいの村 江汐(えじお)のフロント ☎ 0836-84-2323
- マスターマップ: 前庭にあり、ポスト位置は鮮明、立派である。
- マップ: 調査期間は1985.10 ~ 1986.2 縮尺1/20000のO-MAP, OL-PC No.26の「菩提寺山」と共通。一部100円
- コース: 江汐公園、有帆川流域の平坦地、高千帆台を結ぶ比較的易しいコース。

山陽本線「小野田」駅下車。タクシーで「いこいの村江汐」へ、1100円程度。駅からフロントへ電話したら「バスは一日に3便しか無いのでタクシーで」との声が返ってきた。帰りに駅前のバス乗り場で時間を調べたが結局分からなかった。ポスト①、②は江汐公園内、ポスト③は仁保の上古墳にある。この古墳は横穴式石室墳で、6世紀末築かれたものという。ポスト④は別府八幡宮、光仁帝即位の宝亀元年(770年)創建。ポスト⑤は道端の地藏さま。ポスト⑥は曹洞禅寺の岩崎寺、ポスト⑦は小道の分岐、ポスト⑧は高千帆台団地内の小公園にある。小学生が二人暑さにめげずサッカーボール

を蹴っていた。この公園に水道があり、汗も出ないくらいカラカラになっていたので給水できて助かった。ポスト⑨も寺であったが、看板が飛んでしまっていて名は不明。ここにも水道があった。ポスト⑧から⑨へ行く途中でマップに無いバイパスができていて迷うことは無い。

コースは殆ど平坦で、市の名所をめぐる家族向きのハイキングコースといったところ。桜、ミツバヤマトツジの季節は見事とのこと。

ポスト記入済みマップがあれば、JR「小野田」駅を起点にして回れる。また「菩提寺山」のコースも含めて一筆書きで回ってもよい。

「菩提寺山」コースは崖崖仏・バクチ岩等の巨岩と緑のコントラストが素晴らしい。頂上から小野田、宇部の臨海工業地帯が一望できる家族向きのコースとのこと。

【その他の情報】 1992.7.31 現在

大分県No.1

「宇佐神宮」

宇佐市役所体育課(0978-32-1111 内線644)に電話で問い合わせ、以下の情報を得た。

- ◆パーマメントコース「宇佐神宮」はマップも無くなって、復活の予定はない。
- ◆現在はウォークラリーをやっている。
- ◆地元のライオンズクラブ等がコース設定をすることがあるが、当然ポストはその日のうちに撤去される。

大分県No.4

「香々地

少年自然の家」

電話(0978-54-2096)で問い合わせ、

以下の情報を得た。

- ◆パーマメントコースはある。
- ◆マップもある。
- ◆「豊後高田」から伊美行きのバスに乗り「香々地少年自然の家」で下車。豊後高田から数えて6つ目のトンネルを出たところという。

リポーター:

〒191 東京都日野市多摩平 5-2-43

窪田 宏明



□1992年8月23日(日)

静岡県 No. 3 ~松 92-1~

「浜七」

[距離] 6~7 km

[ポスト数] 8本 O-MAP

昭和51年から3回目。この間に1回地図が変わっている。

天龍浜名湖鉄道(元JR)「宮口」駅から森林公園行きバス、または同鉄道「岩水寺」駅より徒歩30分、もしくは遠州鉄道「小松」駅から森林公園行きバスを利用。

地図は森林公園会館で100円。マスターは会館前にあるが、会館の中にもあり管理人に言えば見せてくれる。

真夏の暑い日であったが、コースは森の中の小道が主で日陰となり、大して暑さを感じないで済む。ただし③→④は小道を行くとあまりにも遠回りなので車道に出る。④→⑤などは鼻唄が出そうな長閑な道である。ところが⑥は送電線の鉄塔を囲んでいい加減に○を描いたので、どうせこういう所は鉄塔の脇にあるのさと勝手に決めて捜したが見つからず、結局元の小道に出たらすぐそこにあった。⑦へは沼を半周して少し行ったところに山に入る小道があるはずなのに見つからず、あちこちうろろして最後に強引に草やぶを登って行った。150mも行かないうちに広い道に出る。始めから遠回りした方が良かったらしい。あとは楽に出発点に戻れた。所要2時間弱。狭い小道を通るので、顔じゅう蜘蛛の巣だらけになるのは覚悟のこと。

地図は割合正確だが、山は全て白色なので通行可能性が分からず、ショートカットは止めた方がよい。

現在、公園整備のため工事中であり、所々立入り禁止のロープが張ってあったが、管理人によると「通っても構わない」とのこと。

リポーター:

〒125 東京都葛飾区東金町 3-29-11

松尾 一郎

情報あれこれ

■日本学連セミナー '92

来る平成4年11月28日(土)、公認朝日オリエンテーリング大会の前日、富士スバルランドにて日本学連セミナー'92が行われます。講師に利光良平氏を迎え、「海外のオリエンテーリング」についてセミナーを開催いたします。

海外のオリエンテーリングに興味のある方、自分のオリエンテーリングの知識をより幅広くしようという方にとって耳寄りの企画と思われまます。会場の富士スバルランドは朝日大会の宿舎にも指定され、朝日大会の会場にも近く、便利であると思われまます。皆様是非、ご参加ください。

○費用(当日持参、なお宿泊費は含まれません)

500円(日本学連加盟員および評議員)、1000円(左記以外)

○申し込み 参加者の氏名、住所および電話番号をハガキに書いて、

〒169 東京都新宿区高田馬場3-12-10 木村慶ビル3階

日本学生オリエンテーリング連盟 セミナー係

上記の宛て先に、11月19日(必着)までにお送りください。

○問い合わせ先 竹中 庸 ☎0462-75-2268(自宅)

【宿泊について】

宿泊は参加者各自で申し込んでもらうこととなります。宿泊は朝日新聞社オリエンテーリング大会のために山梨県協会が用意して下さった富士スバルランドを利用させていただきます(1泊2食付き 6386円)。

参加する方は富士スバルランドに宿泊する手続きをしてください。

○宿泊の申込み先

富士観光開発総合予約センター ☎0555-72-2236

■ランナーズ誌主催

「第9回 全日本月間走り込み大会」

OL関係グループ申込み者

ランナーズ誌より次のグループから申し込みがあった旨報告がありました。

(順不同)

宝仙高校OLK(2)、新潟大学OLK部、OLC SANS SOUCI、かつとび多摩OL、東京農大OLC、武蔵野OLG、名大OLC、広島OLK部、OLオタクキーズ参上、いぬいOLKおたく、筑波大OL愛好会、静岡OLC、OLP兵庫、JA Orienteers、つまいOLC(2)、愛知OLC(2)、水戸二高OLC(3)、信州大OLC、OLC マリンブルー、京大京女OLC、大阪市大OLC。

■愛知オリエンテーリングクラブ
新役員のご案内

愛知オリエンテーリングクラブ 会長 伊藤 英夫

この度、愛知オリエンテーリングクラブでは7月12日に総会を開催し役員改選を行い、次のように決まりましたのでお知らせいたします。

今まで同様変わらぬおつきあいを希望してご通知いたします。

【新役員】

会長：伊藤 英夫 副会長：土屋 晴彦、落合 隆、岡野 英雄

事務局：石田 博孝 会計：蜂谷 博彦

書記：福田 清彦、石田 亘宏、木村 敬 管理：小島 敏延

広報：小林 勇武、石田美代子、木村 厚、加藤 真朗、高橋 晴士

会計監査：石原 幸二

【事務局は変更ありません】

〒460 名古屋市中区栄1-10-19 名古屋商工会議所ビル

愛知県青少年協室内 ☎052-211-3957

【加盟団体への代表】

東海地区オリエンテーリングクラブ連絡協議会 委員 土屋 晴彦

愛知県オリエンテーリング協会 理事 土屋 晴彦

【役員自宅連絡先】

伊藤 英夫 ☎052-522-6091 〒451 名古屋市中区又穂町2-1 又穂住宅 2-205

土屋 晴彦 ☎052-621-3609 〒456 名古屋市中区大高町砂畑9-8

落合 隆 ☎0586-78-6382 〒491 一宮市時之島字大東 81

岡野 英雄 ☎05613-8-3972 〒470-01 愛知県東郷町北山台 3-3-15

編集集音3より

◆9月、この日曜日(6日)は、やっと涼しく、ワープロを打つスピードも上がります。しかし、原稿を単純に打つのは英文タイプを打ち慣れている指では苦にならないのですが、海外情報を自分で訳しながらの原稿づくりは、やはり時間がかかります。◆そして、いつもながら多忙。特に8月下旬~9月は、勤務先も然ることながら、勤務先の業界の仕事もあり、9月号は12乃至16ページで、思っていたところ、池ヶ谷・桐田・岩出各氏から記事(版下)提供の申し出をいただき、この号は久しぶりに20ページとなりました。ご満足いただけたでしょうか。◆秋のシーズンが始まり、大会の数が少ないのではと、私がこの欄でボヤいたのが効いたのか、その後、大会情報がかなり寄せられ、かなり賑やかになりました。しかし、私が欲しいのはオープン(公開)大会の情報よりも、小さな地域(区市町村)大会の開催予定です。カレンダーに載せると、参加「マニア」(今流に言う「オタク」というのでしょうか)の申込みがあり、いわゆるビッグ大会並みの運営ができない。参加者を地域や職域に限定したい、との考えで情報提供が減っているようです。◆15年以上も前でしょうか、公認指導員養成が盛んな頃、指導員は指導員、参加者は参加者、ではダメ。従って、いつか私がストーリーマナー欄に書いた「マルチ」のオリエンティアが期待され、企画、運営、地図、コース設定、もちろん初心者指導ができる多くの指導員が輩出しました。この人たちは「運営への協力」ができたのです。小さな地域大会ならば、その地域への普及を目的とした大会ならば、運営協力をしながらの参加をお願いしたい。この議論、次号へ続けたい。<流人>

O-JAPAN 92/9

No.110 1992. 9. 10発行

発行/O-JAPAN

発行人/田口 昭子

〒233 横浜市長南区日野南7-9-5

TEL. 045-891-7004

(Annex) TEL. 0287-77-1977

FAX. 045-891-2500

郵便振替口座/横浜7-46870

(加入者名) O-JAPAN 編集部

購読料 年間4月~3月 ¥3,000

(高校生以下) ¥1,800

'92.10月~'94. 3月 ¥4,500

(高校生以下) ¥2,700

1部あたり頒布価格 ¥250

編集責任者/田口 肇

Chief Editor: Hajime Taguchi

Editorial Address:

7-9-5, Hino-minami, Kohnan-ku

Yokohama, 233 Japan